

1993年度社会学コース学事報告

1993年

4. 1

[学部・大学院担当教員]

増員人事として新たに児島和人教授（コミュニケーション論担当）をお迎えした。先任の北川隆吉教授、皆川勇一教授、米地實教授、柴田弘捷教授、宇都榮子教授、広田康生助教授、嶋根克己助教授に加えて、専任教員8名となった。

社会学コース所属の学生は2年次109名、3年次78名、4年次95名の計282名（1993. 5. 1現在）

大学院社会学専攻修士課程1年生3名、2年生6名

4. 1－7. 26 前期授業期間

4. 5 学部入学式

4. 10 大学院入学式

7. 17, 18, 23, 24, 26

宇都榮子担当社会調査法実習実施。調査地は社会福祉法人滝乃川学園（国立市）

7. 26－7. 28 柴田弘捷担当社会調査法実習実施。調査地は長野県諏訪市

7. 26－7. 28 嶋根克己担当社会調査法合宿、質問紙の作成

9. 9－9. 11 児島和人担当社会調査法実習実施。調査地は長野県東山形村

9. 11－9. 13 皆川勇一担当社会調査法実習実施。調査地は山梨県南巨摩郡早川町赤沢

9. 12－9. 14 米地實担当社会調査法実習実施。調査地は三重県志摩郡志摩間崎島

9. 14－9. 16 広田康生担当社会調査法実習実施。調査地は横浜市

9. 16－9. 18 北川隆吉担当社会調査法実習実施。調査地は神奈川県厚木市

9. 17－3. 2 後期授業期間 この間12. 26－1. 7は冬期休暇期間

9. 18 大学院修士課程1期入学試験

10. 13 人文学科1年次生に対して「社会学コースについてのガイダンス」実施

11. 10 1994年度社会学演習Ⅱ（3. 4年次）説明会実施

1994年度2年生は98名

11. 20 大学院修士課程外国人留学生・社会人入学試験

12. 15 卒業論文最終提出日

1994年

1. 12 1993年度専修大学社会学会総会および大会開催

1. 開会の辞

2. 会長挨拶（北川隆吉教授）

3. 総会 93年度事業報告、会計報告、その他

4. 卒業論文報告

- ・赤松享子（宇都ゼミ）
「日本でホスピスが根付くには－現状と今後の課題について－」
コメント 西部朋子（修士課程2年）
- ・広瀬貴行（柴田ゼミ）
「労働時間短縮に関する考察－ゆとりある社会をめざして－」
コメント 木畑壽信（修士課程1年）
- ・川内和也（嶋根ゼミ）
「『世界像』の構築と新新宗教－宗教現象にみる若者意識の変容－」
コメント 藤本泉（修士課程1年）

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 24 - 1. 28 | 卒業論文面接実施 |
| 1. 10 | 修士論文提出日 |
| 2. 1 - 3. 31 | 春期休暇期間 |
| 2. 12 | 大学院修士論文口述試験 |
| 2. 14 | 文学部入学試験 |
| 2. 28 | 大学院修士課程2期入学試験 |
| 3. 3 | 社会学コース専任教員・非常勤教員懇談会開催 |
| 3. 22 | 学部卒業式。社会学コース卒業生93名 |
| 3. 22 | 『専修社会学』第6号発刊 |
| 3. 25 | 大学院学位記授与式。社会学専攻5名 |